

# 「悪石島の盆踊り伝承活動の取組」

## 1 学校名

十島村立悪石島小・中学校

## 2 学年・人数

小学生 8 名（1 年 3 名， 3 年 2 名， 4 年 1 名， 5 年 1 名， 6 年 1 名）  
中学生 2 名（1 年 1 名 2 年 1 名） 計 10 名

## 3 日時・場所

### (1) 日時

平成 28 年 8 月 9 日～18 日（旧暦 7 月 7 日～16 日）

- ・旧暦 7 月 7 日：七夕 夜の盆踊り始め
- ・旧暦 7 月 13 日：花たて打ち
- ・旧暦 7 月 14 日：水祭り 盆踊り（テラ→公民館）
- ・旧暦 7 月 15 日：水祭り 盆踊り（公民館→テラ）
- ・旧暦 7 月 16 日：ボゼ祭り

20：30～21：30

### (2) 場所

悪石島公民館・トンチ（殿地）・テラ（墓地）等

## 4 伝承・活用に取組んでいる郷土芸能，伝統行事について

### (1) 名称

悪石島の盆踊り（あくせきじまのぼんおどり）

### (2) 由来

盆踊りに登場するボゼは，かつてはトカラ列島の各島に，ヒチゲーと呼ばれる冬の節替わりの夜に登場した仮面を被った神である。現在は，その名残が悪石島のみに残っているとされている。

### (3) 構成等

盆踊りで踊られる踊りは，精霊を慰めるもので，「長崎船」，「花踊り」，「コダシ踊り」，「俵踊り」，「財布踊り」，「魚釣り踊り」，「ハッパン大将」の 7 種類からなっている。しかし，「ハッパン大将」は伝承が絶えてしまい，現在は踊られていない。また，ボゼは盆の終わりに現れ盆行事の幕を引くことで，盆から太陽の輝く日常の力強い新たな生の世界へ引き戻し，転換させ甦らせる役目をもつとされる。

## 5 保存会や地域との連携の具体

盆踊りは，踊るところ，ときが定めら，先祖の霊や神・仏に奉納するものとされているので，お盆以外に踊られることはなく，伝承も口伝のみとなっている。そのため初めて参加する者は，実際の踊りの中に入り，島民が踊っている姿を参考に，見よう見まねで覚えるしかなかった。しかし近年，伝統をしっかりと引き継ぐため，保存会発足の動きが見えている。学校もその一端を担えるよう協力・連携していきたいと考えている。

教職員も，島民の一員として積極的期に参加し，真剣に取り組んでいる。この

時期は夏季休業中であることが多いが、よほどのことがない限り、全職員帰島し参加をしている。踊りは男性のみであるが、女性は各家庭での御盆行事や食事の準備等で大忙しの中、踊りの合いの手などで参加し、場を盛り上げてくれる。まさに島が一丸となり取組む姿から、郷土の伝統文化への誇りと熱い思いを知ることができる。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

前述したが、盆踊りを含む神行事は口伝によってのみ伝承されており、保存会等は存在しない。しかし、旧暦の7月7日から行われる盆踊りを含む各行事に、子どもたちも参加しており、幼いころから慣れ親しんでいる。なかには踊りの中で歌われる歌を口ずさむことのできる子もおり、昔からそのような形で郷土の伝統文化が引き継がれてきたことを窺い知ることができる。

## 7 取組の様子



悪石島のボゼ



悪石島の盆踊り



悪石島の盆踊り

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【児童生徒】

ボゼは怖かったが、楽しく参加することができた。いろいろな人に声をかけてもらえたことが、うれしかった。

### 【教職員】

踊りを覚えるのは大変だったが、島民が一体となって昔からの伝統文化を大切に思い、受け継いでいることを感じることもできた。